社会福祉法人ワーナーホーム定款

1988年9月13日制　　定
（　途　中　省　略　）
2011年2月28日変更認可
2011年3月 28日改　　正
2012年9月 29日改　　正
2012年12月 18日改　　正
2013年5月 23日改　　正
2013年7月5日変更認可
2013年10月 22日改　　正
2015年3月 19日改　　正
2015年5月27日変更認可
2016年10月 31日改　　正
2017年2月2日変更認可
2017年3月 27日改　　正
2018年6月 22日改　　正
2018年7月 31日変更認可
2019年6月 21日改　　正
2021年6月 25日改　　正
2022年10月 7日改　　正
2023年1月19日変更認可

第1章　総則

（目的）

第１条　この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスを必要とする者が、独立した社会人として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるとともに、その環境、年齢及び心身の状況に応じ、必要な福祉サービスを総合的に提供されるよう援助することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

（１）第２種社会福祉事業

ア　障害福祉サービス事業の経営

イ　相談支援事業の経営

ウ　地域活動支援センターの経営

エ　障害児通所支援事業の経営

（名称）

第２条　この法人は、社会福祉法人ワーナーホームという。

（経営の原則等）

第３条　この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

２　この法人は、地域社会に貢献する取組として、障害者世帯、地域の独居高齢者、子育て世帯、経済的に困窮する者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

３ この法人は、自立支援協議会の運営や各種研修会への講師派遣など地域社会の諸活動に積極的に協力するものとする。

４ この法人は、定期的なイベントやセミナーなどを開催し、もって地域作り、地域交流の場を提供するものとする。

（事務所の所在地）
第４条　この法人の事務所を千葉県大網白里市細草３２１５番地９に置く。

第２章　評議員

（評議員の定数）
第５条　この法人に評議員７名以上１０名以内を置く。
（評議員の選任及び解任）
第６条　この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。
２　評議員選任・解任委員会は、監事１名、事務局員１名、外部委員１名の合計３名で構成する。
３　選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
４　選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
５　評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の１名以上が出席し、かつ、外部委員の１名以上が賛成することを要する。
（評議員の任期）
第７条　評議員の任期は、選任後４年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。
２　任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
３　評議員は、第５条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。
（評議員の報酬等）
第８条　評議員に対して、各年度の総額が 525,000 円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第３章 評議員会

（構成）
第９条　評議員会は、全ての評議員をもって構成する。
（権限）
第１０条　評議員会は、次の事項について決議する。
（１）　理事及び監事の選任又は解任
（２）　理事及び監事の報酬等の額
（３）　理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
（４）　計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
（５）　定款の変更
（６）　残余財産の処分
（７）　基本財産の処分
（８）　社会福祉充実計画の承認
（９）　その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項
（開催）
第１１条　評議員会は、定時評議員会として毎年度６月に1 回開催するほか、必要がある場合に開催する。

（招集）

第１２条　評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

２　評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

（決議）

第１３条　評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

２　前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行わなければならない。

（１）　監事の解任

（２）　定款の変更

（３）　その他法令で定められた事項

３　理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第 1 項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第 15 条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

４　第１項及び第２項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第１４条　評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

２　議長及び評議員会において選任した評議員２名は、前項の議事録に記名押印する。

第４章 役員及び職員

（役員の定数）

第１５条　この法人には、次の役員を置く。

（１）理事　６名以上８名以内

（２）監事　２名

２ 理事のうち１名を理事長とする。

（役員の選任）

第１６条　理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

２　理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（理事の職務及び権限）

第１７条　理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

２　理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

３　理事長は、毎会計年度に４月を超える間隔で２回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

（監事の職務及び権限）

第１８条　監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

２　監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

（役員の任期）

第１９条　理事又は監事の任期は、選任後２年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

２　補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
３　理事又は監事は、第１５条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。
（役員の解任）
第２０条　理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。
（１）　職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
（２）　心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。
（役員の報酬等）
第２１条　理事及び監事に対して、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。
（職員）
第２２条　この法人に、職員を置く。
２　この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
３ 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第５章 理事会

（構成）
第２３条　理事会は、全ての理事をもって構成する。
（権限）
第２４条　理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。
（１）　この法人の業務執行の決定
（２）　理事の職務の執行の監督
（３）　理事長の選定及び解職
（招集）
第２５条　理事会は、理事長が招集する。
２　理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。
（決議）
第２６条　理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
２　前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。
（議事録）
第２７条　理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
２　当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第６章 資産及び会計

（資産の区分）
第２８条　この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産、公益事業用財産の三種とする。
２ 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

（1）千葉県大網白里市細草３２１５－8、9、１１所在の敷地3筆（1，０８３平方メートル）
（2）千葉県大網白里市細草３２２１－4所在の敷地1筆（1，６５２平方メートル）
（3）千葉県柏市柏下１３５－1、１３６－1所在の敷地2筆（1，２５９．２１平方メートル）
（4）千葉県大網白里市細草３１８９－3、３２１５－2、3、4、7、１０、１2所在の敷地7筆（9，３０５平方メートル）
（5）千葉県大網白里市細草３２２１－9所在の敷地1筆（８１０．７２平方メートル）
（6）千葉県茂原市六ツ野２７９６－４０所在の敷地1筆（１３６．９４平方メートル）
（7）千葉県大網白里市駒込１１８９－2所在の敷地1筆（６８８平方メートル）
（8）千葉県大網白里市駒込１１９０－1所在の敷地1筆（６１４．９３平方メートル）
（9）千葉県茂原市三ヶ谷１８１６－1所在の敷地1筆（４１２．３平方メートル）
(10) 千葉県千葉市緑区誉田町1丁目９５８－１０、９５８－３９所在の敷地2筆（３９１平方メートル）
(11) 千葉県茂原市六ツ野２７９６－１2、２７９６－２５所在の敷地2筆（３７３．２８平方メートル）
(12) 千葉県大網白里市細草３２１５－１９所在の敷地1筆（１９９．０８平方メートル）
(13) 千葉県大網白里市細草３２１５－1所在の敷地1筆（２１９平方メートル）持分２１９０分の３３
(14) 千葉県茂原市六ツ野２７９６－１０所在の敷地1筆（１６９．３３平方メートル）
(15) 千葉県茂原市六ツ野２７９６－４１所在の敷地1筆（３２．３８平方メートル）
(16) 千葉県大網白里市細草３２１５－9所在の鉄骨造コロニアル葺平屋建
ワークショップしらさと建物　1棟（３１６平方メートル）
(17) 千葉県大網白里市細草３２１５－9所在の鉄骨造陸屋根2階建
ノバハイツ白里建物　1棟（３３８．９８平方メートル）
(18) 千葉県大網白里市細草３２２1-4所在の鉄骨造陸屋根平屋建
パンプキンハウス建物　1棟（２８８．５８平方メートル）
(19) 千葉県柏市柏下１３５－1、１３６－1所在の鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建
柏市地域生活支援拠点たんぽぽ1号館たんぽぽセンター建物　1棟（３１６．５平方メートル）
(20) 千葉県大網白里市細草３２２１－4所在の木造スレート葺平屋建
ワークショップしらさと作業棟　1棟（７４．５２平方メートル）
(21) 千葉県大網白里市細草３２１５－2、3、１０所在の鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
クロワール及びホレブ寮建物　1棟（1，３６６．７５平方メートル）
(22) 千葉県大網白里市細草３２２１－9所在の木造スレート･亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
ホレブデイサービスセンター建物　1棟（２３２．２９平方メートル）
(23) 千葉県茂原市六ツ野２７９６－１０所在の木造スレート葺2階建
長生地域生活支援センター建物　1棟（１３２平方メートル）
(24) 千葉県大網白里市駒込１１９０－1所在の木造スレート葺2階建
だいち建物　1棟（５７０．１４平方メートル）
(25) 千葉県柏市柏下１３５－1所在の鉄筋コンクリート造合金メッキ鋼板葺2階建
柏市地域生活支援拠点たんぽぽ1号館わたげワークス建物　1棟（１４３．１３平方メートル）
(26) 千葉県茂原市三ヶ谷１８１６－1所在の鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
ワークショップ茂原建物　1棟（１９９．８１平方メートル）
(27) 千葉県柏市柏下９５－2、９４－2所在の鉄骨造陸屋根平家建
柏市地域生活支援拠点たんぽぽ2号館建物　1棟（２８９．６４平方メートル）
(28) 千葉県柏市柏下９５－2、９４－2所在の鉄骨造陸屋根平家建
柏市地域生活支援拠点たんぽぽ3号館建物　1棟（２６３．５３平方メートル）

(29) 千葉県千葉市緑区誉田町１丁目９５８－１０、９５８－３９所在の木造スレート葺き２階建
ポルタ建物　１棟（２７７．８１平方メートル）
(30) 千葉県茂原市六ツ野２７９６－１２、２７９６－２５所在の木造合金メッキ鋼板ぶき２階建
ぶらり建物　１棟（３１６．３５平方メートル）
(31) 千葉県大網白里市細草３２１５－１９所在の木造スレート葺２階建
別館建物　１棟（１４１．６平方メートル）
(32) 千葉県茂原市六ツ野２７９６－１０所在の木造スレート葺平屋建
ワークショップ茂原作業棟建物　１棟（８９．４３平方メートル）

３　その他財産は、基本財産、公益事業用財産以外の財産とする。

４　公益事業用財産は、第３６条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。

５　基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第二項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第２９条　基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、千葉県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、千葉県知事の承認は必要としない。

（１）独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

（２）独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

第３０条　この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

２　資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第３１条　この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

２　前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第３２条　この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

（１）　事業報告

（２）　事業報告の附属明細書

（３）　貸借対照表

（４）　収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）

（５）　貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書

（６）　財産目録

２　前項の承認を受けた書類のうち、第１ 号、第３ 号、第４ 号及び第６号の書類については、定時評議員会に提出し、第１ 号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

３　第１ 項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に５ 年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

（１）　監査報告

（２）　理事及び監事並びに評議員の名簿

（３） 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
（４） 事業の概要等を記載した書類
（会計年度）
第３３条　この法人の会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月３１日をもって終わる。
（会計処理の基準）
第３４条　この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。
（臨機の措置）
第３５条　予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の３分の２以上の同意がなければならない。

第７章 公益を目的とする事業

（種別）
第３６条　この法人は、社会福祉法第２６条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。
（１）ケア付き共同住居「新ホレブ寮」の事業
（２）障害者就業・生活支援センターの事業
（３）介護保険法に基づく居宅サービスの事業
２　前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の３分の２以上の同意を得なければならない。

第８章 解散

（解散）
第３７条　この法人は、社会福祉法第４６条第１項第１号及び第３号から第６号までの解散事由により解散する。
（残余財産の帰属）
第３８条　解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第９章 定款の変更

（定款の変更）
第３９条　この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、千葉県知事の認可（社会福祉法第４５条の３６第２項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。
２　前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を千葉県知事に届け出なければならない。

第１０章 公告の方法その他

（公告の方法）
第４０条　この法人の公告は、社会福祉法人ワーナーホームの掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又はホームページに掲載して行う。
（施行細則）
第４１条　この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

1　この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員の選任を行うものとする。

理事長　寺　田　一　郎
理　事　岡　上　和　雄
〃　沼　尻　　亨
〃　齋　藤　　茂
〃　小　倉　き　ん
〃　丹　澤　正　直
監　事　茂　腹　敏　明
〃　高　橋　彦次郎

2　この定款は、２０１７年4月１日より施行する。

3　この定款は、２０１８年7月３１日から施行する。